

太陽の島々 鬼界ヶ島紀行

増井 貞雄

ヤマハ経営の旅行代理店のジブで硫黄島に登る。登山の途中の道のあちこちから噴煙が出ていて、木一草もない瓦れきの山で、かつての硫黄採掘の建物の鉄骨も硫黄の雨で腐食して、その残骸が無気味に立っている。

頂上まで火口をのぞくと噴煙が風で散った瞬間しか見えず、口をハンカチでおおっていなればばらばらと舞い降り、煙が身辺にたたく。正に地獄の山である。

「硫黄」という物産が満ちたこの平家物語の昔のままである。

中腹以下にはリュウキュウ竹が茂り、宿の前には山ツバキの原生林が、その樹下にツワブキの群衆が黄金の花をつけ、ヤマウカシやランバイの黒い実が目立つ。全島、リュウキュウ竹とツワブキの島と云ってよい程植生は単純で、その他クミ、ツツジ、ムベ、トリモチの木がある。ことに

この地方のツワブキの生育は異常で、その黄金は鮮やかであった。夕方、背後に硫黄岳を仰ぎ、眼前に荒波だけ見る岩壁を見ながら露天風呂(東温泉)につかる。男無事帰りのついでに、

また櫃之浦で二位の局に抱かれ、海に没したといわれる安徳天皇は、この島に逃れ八歳から十六歳まで住まわれて没したという説が小中学校(在校生十数名)のそばにあり、家臣二〇〇名の墓と云い、五輪塔が建てられていた。

幕は村人によって清掃され林の中に清らげであった。その家臣の一人が安永という姓で、今もこの島にはこの姓が多く、初代村長(鬼界島、竹島、黒島を合して三島村)も安永であるという。

俊寛が都落ちして泣き叫んで足を摺ったという足摺石、俊寛の落涙が石に窪みをつけたという伝説の他に、それ以前にも、この島は様々なマンと幻想をかき



鬼界島・ヤブツバキの中の軽大臣の墓(筆者撮影)

位置づけて取組む

君本 たつ子 (財)兵庫県立学校厚生会 生会福祉厚生部長

一言でいえば、各府県の会がどれだけ、自分の団体の仕事として位置づけて、取り組んでいるのかにかかっていると思う。

兵庫県の場合は、四、五、〇〇〇名の現職教職員、六、〇〇〇名の退職者によって組織された学校厚生会がいろいろな福祉事業をやっているが、研修旅行をメインの事業として、はじめて二、三年間の事業計画に位置づけている。

コース名、定員、所要費用などの計画が、役員会・理事会・総会の議を経て、四月一日新学期早々に募集開始をする。

毎月一回、本部から業務関係の正式文書が各会員に配送され、その中に、多岐にわたる項目が盛り込まれた要請連絡があるが、その中に必ず五、六項目、それ以上の研修旅行のことが入っている。この正式文書は、学校用、個人用とあ

安心できる信頼感で

大野 良兵 (財)山口県教育委員会 互助会・事務局長

山口県の場合、研修旅行募集の第一歩は、昭和五十七年度県教育委員会の福利厚生事業、福利課の元氣回復(保養、研修、文化教養関係)の項の特別研修に位置づけられることである。

これによって、職員の取扱いを受け、補助が成されることになり、それは研修旅行助成基準によって示される。ご参考までに五十七年度の実績を申し上げますと、助成の対象事業は、互助会が主催する旅行と全修協が主催する研修旅行であり、助成の対象者は、全修協は会員およびその家族、全教互は会員のみとなっている。

助成額(算定基準及び制限については、公平を期してケースをきめて規定)、実施した。

本年度、全修協関係の研修旅行は、北海道、沖縄、東北、木曾路、美濃路、尾瀬沼、能登のコース等で、助成は経費の25%程度、限度二五、〇〇〇円である。

前年参加者の補助は半額となるので、予算八〇〇万円四〇〇名を目標に募集を進めている。

県の文書関係は、月の途中の発送は必ずしゅうので、月末、月初めに、ポイントをおいている。

職員の講習が、研修旅行に行き喜ばれ、兵庫県と同じく安心して行けるという信頼感を得て、大体四〇〇名は定着したと考えている。(文責・全修協本部員)

ニュース点描

お座敷列車再来の話し・5月22日、あさのNHKは、本因坊お座敷列車の話題を伝えていた。それは、国鉄が赤字対策に、豊を救いたお座敷列車を任立てて、みどりの長野なびへパチパチと楽しみながらの旅をという趣向。そこで思い出したのは、全修協結成の頃、北海道行き、お座敷列車の旅。戦後十年、新しい日本づくりに、新鮮な気持ちで、未知の北海道へと草木もなびいた。

全修協で全国の先生方によひかけたところ、たちまち五千人、国鉄も車輪の少い時代、そこで豊を救いた列車にワッシャーと乗って出かけたという。

今は、神話化したよき時代の話。国鉄では、また八月十三日、十七日、修繕等へ向けて、急行「お座敷列車レジャー号」を登場させる。

増子寺三門に落書き、中学生のしわざが、カメラで100か所も……、大阪読売(5・20)が、大きく報道した。いまでもなく「徳川家菩提寺のその二解」(さんげだつもん)は、国指定の重要文化財。心な仕事にまわればかりはいられない。学校、家庭で、幼い時から、文化財尊重の大切さを、とくと教えておくことが、肝要。

と、い、修学旅行の実施にあたっては、その自覚を持たせることが必要である。だが、どこかに落書きがあれば、修学旅行と短絡されるのはハラがたつ。

六〇歳を過ぎると、脳細胞は、一日に十個ずつ減少する。これを防ぐには「旅」へ出ることに、と。

日本の祭り 特別企画
京都大文字送り火と
春日大社の万灯籠
泊日:
【期日】8月15日-17日
【会費】七一、〇〇〇円(東京駅、五、〇〇〇円、京都駅)
【定員】四〇名
【コース】①東京(9時36分)ーひかりー京都ー近鉄特急ー近鉄奈良ー市内見学後ホテル(泊)②ホテル・春日大社万灯籠見学。③ホテル・奈良市内フリータイムー近鉄奈良ー近鉄特急ー京都ー友禅美術館ほかー市内ホテル(泊)※東北新幹線急行について①北へ向かって②北へ向かって③東北新幹線急行について④東北新幹線急行について⑤東北新幹線急行について⑥東北新幹線急行について⑦東北新幹線急行について⑧東北新幹線急行について⑨東北新幹線急行について⑩東北新幹線急行について

育てる心はみんな同じ。



●営業時間
9:00~17:00 (3月16日~11月15日)
9:30~16:00 (11月16日~3月15日)
●修学旅行料金 高校生 1,000円
中学生 700円、小学生 600円

別府あじむ草原
AFRICAN SAFARI
〒872-07 大分県宇佐郡安心院町大字南畑
☎(09784) 8-2-3 1代

いらっしやいませ
びわ湖国定公園
近江路の旅へ

収容 600名様
浴場 150名様
設備 全館冷暖房
防災 諸設備完備
駐車場 20台

政府登録 国際観光旅館 **びわ湖リゾートホテル**
大津市におの浜3丁目2-25 電話 大津(0775)24-2321

三六〇度のパノラマ大観覧車

修学旅行、受験生の宿泊に最適!!

東京の都心から30分の地の利にある「よみうりランド」敷地内に1,500名宿泊収容できるよみうりランド会館があります。多摩丘陵の静かで落ついた環境の中で、楽しい旅行を満喫して頂けるよう安いご予算で限られた旅行スケジュールを効果的にあげるご便宜を計っております。また、一般の方や、団体旅行の宿泊はもちろんのこと、各種会合や研修会などのご用命も承っておりますので、ぜひご利用ください。

※ご宿泊特別ご優待 よみうりランド入園ご招待、その他の施設は割引

よみうりランド会館 東京都稲城市矢野口3294
TEL 044(966)1137~8

交通のご案内 京王線京王よみうりランド駅→スカイロード(動く歩道)、小田急線読売ランド前駅→直通バス
首都高速3号線(渋谷線)→東名川崎インター8km、首都高速4号線(新宿線)→中央高速調布インター5km

防火基準適用施設

修学旅行、受験生の宿泊に最適!!

東京の都心から30分の地の利にある「よみうりランド」敷地内に1,500名宿泊収容できるよみうりランド会館があります。多摩丘陵の静かで落ついた環境の中で、楽しい旅行を満喫して頂けるよう安いご予算で限られた旅行スケジュールを効果的にあげるご便宜を計っております。また、一般の方や、団体旅行の宿泊はもちろんのこと、各種会合や研修会などのご用命も承っておりますので、ぜひご利用ください。

※ご宿泊特別ご優待 よみうりランド入園ご招待、その他の施設は割引

よみうりランド会館 東京都稲城市矢野口3294
TEL 044(966)1137~8

交通のご案内 京王線京王よみうりランド駅→スカイロード(動く歩道)、小田急線読売ランド前駅→直通バス
首都高速3号線(渋谷線)→東名川崎インター8km、首都高速4号線(新宿線)→中央高速調布インター5km